

夜叉ヶ池伝説

～村を守った哀しき姫の伝説と美しい自然～



夜叉ヶ池



揖斐川町役場
| 車 (約1時間40分)
登山口駐車場
| 歩 (約1時間30分)
夜叉ヶ池

揖斐川町への交通アクセス



夜叉ヶ池伝説

～村を守った哀しき姫の伝説と美しい自然～

揖斐川町坂内地区の川上集落にある「夜叉龍神社」。山あいの林道沿いにひっそりとたたずむこの神社には、「夜叉姫」と呼ばれる女性が神として祀られており、「夜叉ヶ池伝説」という悲しい伝説が、今もなお語り継がれています。

「お前が雨を降らせてくれたら、どんな願いもかなえよう」—その昔、美濃の国神戸（現在の岐阜県安八郡神戸町）の郡司であった安八太夫は、日照りに悩まされる村人を救おうとお宮にお参りする際、田んぼで出会った一匹のへびに、そうつぶやきました。その後、太夫が家に帰ると、なんと雨が降り出しました。田んぼはあっという間に水がたまり、村人も太夫も大喜び。しかし、喜びは長くは続きませんでした。雨の翌日に、一人の山伏が太夫の元を訪れこう言いました。「私は揖斐川上流に住む龍神である。そなたの願い、確かに聞き届けた。約束通り私の願いとして、お前の娘を我が妻として差し出してもらおう。突然の要求に太夫は困惑します。すると、三人の娘のうち一人が、村人を救ってくれたお礼にと、妻となることを申し出ました。それが夜叉姫だったのです。こうして、夜叉姫は龍神の妻となり、自らも龍に化身して、揖斐川上流の池に棲むこととなりました。夜叉姫を不びんに思った太夫は、その後たびたび池を訪れ、哀れな娘の姿をしのびました。やがて、その池は「夜叉ヶ池」と呼ばれるようになったそうです。

さて、この「夜叉ヶ池」は、岐阜県揖斐川町と福井県南越前町の境にある三周ヶ岳山頂付近に位置し、標高約1100mの高さにありながら、水が全く枯れない神秘的な池です。池周辺は、春・夏には木々の深緑やニッコウキスゲなどの高山植物を楽しめ、秋には燃えるような紅葉に彩られる自然豊かな場所です。毎年6月に山開きされ、大勢の登山客でにぎわいます。7月下旬には「夜叉ヶ池伝説道中まつり」が開催され、神戸町の「夜叉堂」からスタートし、夜叉姫が通った

とされる史跡を巡り、龍神の舞を奉納しています。フィナーレにはステージ上で夜叉ヶ池伝説の歌劇が披露され、龍神の舞が会場内を豪快に駆け抜けます。

村を守った哀しき姫の伝説と、美しい自然が今なお残る「夜叉ヶ池」。神秘的な池のほたりで、さわやかな自然の息吹を感じてみませんか？

【夜叉ヶ池登山のご案内】 駐車場から池まで、徒歩で約1時間半（約3km）

★池までは登山となりますので、体調・装備は万全の状態をお願いします。なお、駐車場及び夜叉ヶ池登山の事故等については責任を負いかねますので、ご了承ください。



夜叉ヶ池伝説道中まつり



夜叉龍神社



ニッコウキスゲ

おもしろスポット紹介



はたご岩

揖斐川町藤橋地区にあり、夜叉姫が龍神の元へ嫁ぐ途中、ここで休息を取ったことから、その名がついたといわれています。すぐ近くには、全国でも13箇所しかない「中空重力式コンクリートダム」の一つ、横山ダムもあります。



もろかの里

標高約400mの高原に広がる体験活動エリア。プラストアートや機織り、和紙すき等の素朴な6種類の工芸を体験できるほか、かや葺きの古民家を改良した生活体験施設もあり、農村生活を体験できます。

問合せ先: 諸家の里事務局 TEL:0585-53-2304



道の駅 夜叉ヶ池の里さかうち

国道303号に隣接する道の駅。恵まれた気候風土の中で育った野菜や、地元地域で採れたジビエを活用した料理など、地域の特色を生かしたメニューが味わえます。

営業時間: 8:00~17:00、レストラン10:30~16:30
定休日: 毎週水曜日(※水曜日が祝日の場合は翌日)
問合せ先: 道の駅夜叉ヶ池の里さかうち TEL:0585-53-2262